



2020年3月3日
イオン株式会社

イオン(株)、イオンモール(株)「なでしこ銘柄」に選定されました



イオン株式会社（代表執行役社長：吉田 昭夫）と、イオンモール株式会社（代表取締役社長：岩村 康次）は、2020年3月3日、2020年度の「なでしこ銘柄」※1に選定されました。イオン株式会社は3年連続、イオンモール株式会社は4年連続での選定となります。

イオンは、グループ主要企業約70社でダイバーシティ推進体制を整え、個社の課題に対応した取り組みを進めるとともに、「“ダイ満足”アワード」を毎年実施し、グループ各社の好事例を共有し、表彰しています。また、企業主導型保育施設などのインフラ整備、階層ごとにセミナーを実施するなど、ダイバーシティ経営実現に向け、グループ一丸となって取り組んでいます。

イオン株式会社は上記取り組みに加えて、イクボス※2育成、「“ダイ満足”アセスメント」が評価されました。イクボス育成においては、毎月19日を「イクボス」の日とし、管理職を対象に「イオンのイクボス検定」を初級・中級に分けて実施しています。また、年に1度、社員の推薦をもとに特に秀でたイクボスを「イクボス個人賞」に選定し、表彰することで、浸透をはかっています。「“ダイ満足”アセスメント」は、グループ各社の女性管理職比率など定量情報と、定性情報をもとにダイバーシティので取り組み状況を表したもので、女性活躍の進捗管理に活かしています。

イオンモール株式会社は、独自の育児休業扶助金制度を導入し、育児に参画しやすい環境を整備することで、男性の育児休職取得者が昨年より10名増加し、計13名となりました。また、子育て支援の取り組みの1つとして、モールに勤務する専門店各社の従業員や、地域の方々がご利用いただける事業所内保育施設「イオンゆめみらい保育園」は、2014年にイオンモール幕張新都心で開園以降、現在までに22園を設置※3しています。その定員数は合計約600名となり、同社のパートナー企業を含めた共に働く多くの方々の仕事と育児の両立支援を行っています。

イオンは、今後も絶えず革新し続ける企業集団として、ダイバーシティ経営をさらに推し進め多様な人材の価値観・能力を活かすことでお客さま満足の向上に努めてまいります。

- ※1 なでしこ銘柄：経済産業省が東京証券取引所と共同で、2012年度より女性活躍推進に優れた上場企業を「なでしこ銘柄」として選定し、発表しています。「中長期の企業価値向上」を重視する投資家に魅力ある銘柄として「なでしこ銘柄」を紹介することで、企業への投資を促進し、各社の取り組みを加速化していくことを狙いとしています。
- ※2 イクボス：職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のことを指します。
- ※3 イオンモール(株)が、イオンモール内に設置する保育施設数（提携保育施設を含む）

以上